

2022年5月17日

株式会社タカラレーベン

## タカラレーベングループ DX ポリシー策定のお知らせ ～ 変化の第一歩。一人ひとりの想いを集結した DX ～

株式会社タカラレーベン（本社：東京都千代田区／代表取締役：島田和一）は、2021年5月14日に発表した中期経営計画「7本の柱」のひとつである「DX推進による生産性の向上と新たなサービスの創出」に関するDXポリシーを策定しましたので、お知らせいたします。



### ■ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは DX推進による生産性の向上と新たなサービスの創出

DXとは、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること※」と定義されています。タカラレーベンでは、「事業・業務の効率化や生産性向上の持続的推進、新たなサービス創出と企業文化の変革」をDXと捉え、お客様、全国各地の地域社会にお住まいの方々のニーズ・要望を基に、最先端デジタル技術やデータを活用しながら、変革を実行していきます。

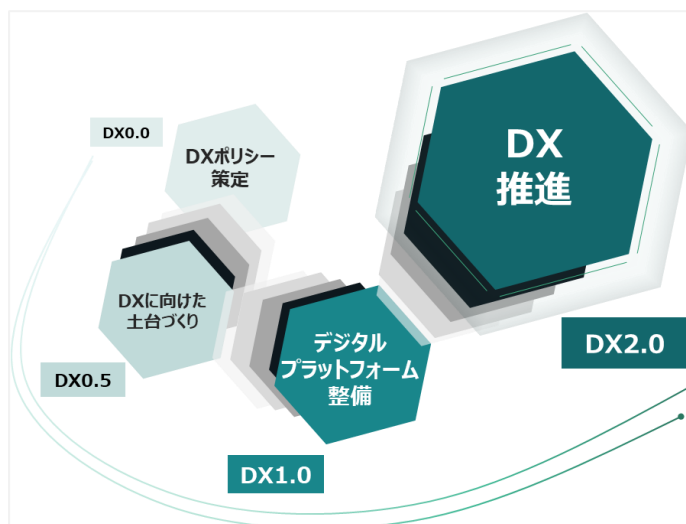
※引用：平成30年12月 経済産業省 デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン（DX推進ガイドライン）Vol.1.0

### ■ DXポリシー

#### お客様・パートナー・グループ従業員、一人ひとりの想いを集合体にし、DXを推進する。

タカラレーベングループのDXポリシーは、中期経営計画におけるデジタル戦略を具体化し、事業セグメントごとにデジタル施策の「起案・推進・定着化」を積み上げることでグループ企業理念「幸せを考える。幸せをつくる。」の実現の一助とすることを目的としています。

DXの実現に向けて、「DXポリシーの策定（DX0.0）」「DXに向けた土台づくり（DX0.5）」「デジタルプラットフォームの整備（DX1.0）」「DX推進（DX2.0）」のDXジャーニーを設計しており、DX0.0としてポリシーを策定いたしました。



## ■ DX 基本コンセプト

一人ひとりの想いの集合体。“TL-ISM”の確立へ。

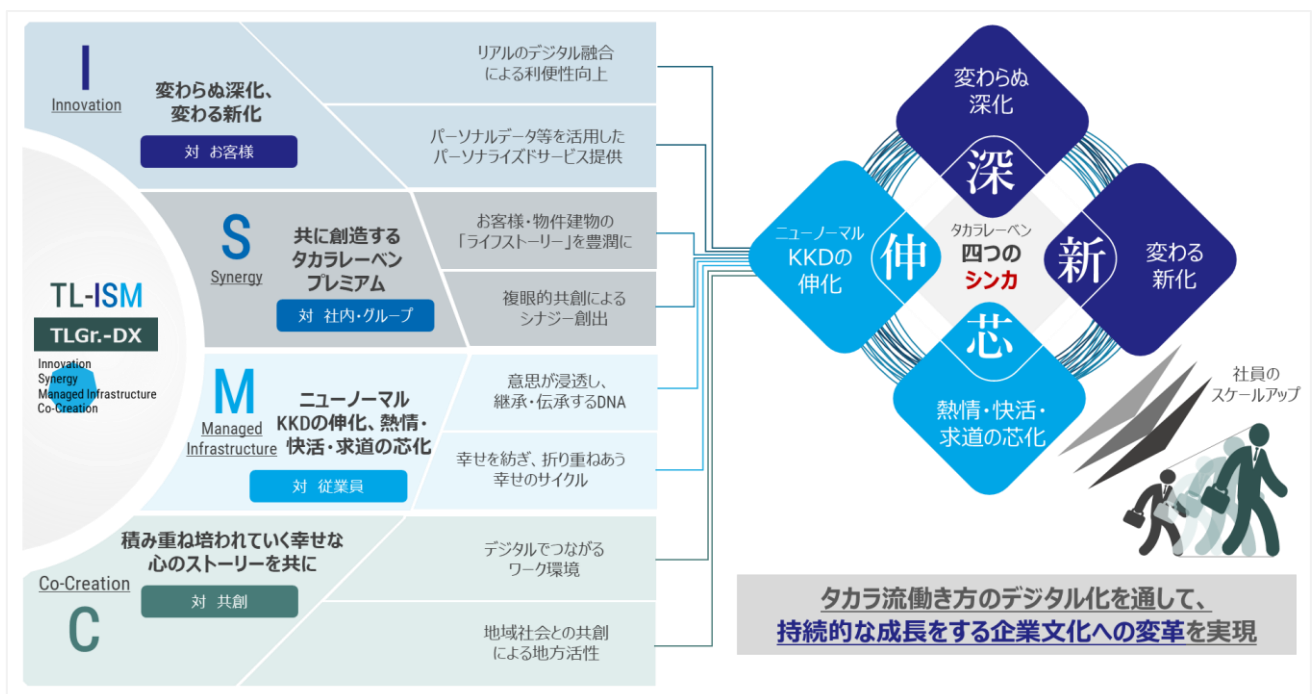
タカラレーベングループでは、DXによって実現したいソリューションを対象ごとに明確にすることで、一人ひとりの想いに寄り添ったDXの推進をコンセプトとしています。



## ■ シンカの枠組み

四つの“シンカ”で実現する、タカラレーベングループのDX。

タカラレーベングループならではのDXを推進することで、持続的な成長をする企業文化への変革の実現を目指しています。



タカラレーベンではDXに係わる投資費用に関して、毎年度施策効果を検証したうえで増額（2021年度比）していく方針となっており、DX推進による生産性の向上と新たなサービスの創出を推進してまいります。DXポリシーに関する詳細は別添の資料「DXポリシー エグゼクティブサマリー」を参照ください。

## ■ 会社概要

商 号 : 株式会社タカラレーベン  
代 表 者 : 代表取締役 島田 和一  
所 在 地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 鉄鋼ビルディング 16F  
設 立 : 1972年9月  
事 業 内 容 : 自社ブランドマンション「レーベン」・「ネベル」シリーズ及び、  
一戸建新築分譲住宅の企画・開発・並びに販売、  
エネルギー事業、ホテル事業、建替・再開発事業、海外での不動産販売事業 他  
資 本 金 : 4,819 百万円  
U R L : <https://www.leben.co.jp/>

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タカラレーベン

広報部 広報課

担当 : 金野尾

Tel : 03-6551-2130